

委員会 レポート

委員会活動として閉会中に行った所管事務調査の内容を、各常任委員会は第4回定例会において報告しました。
※内容は要約されています。報告書の全文はホームページでご覧になれます。

総務産業常任委員会 調査報告

生産資材等価格高騰に伴う農業経営の現状について

調査日 令和5年5月9日

今回の調査を通じて、様々な対策を講じることにより、「現状の改善」を考えなければならぬことを改めて強く認識したところであるが、この改善に町の財源を投入す

る場合には、その規模の大小にかかわらず、町民にわかりやすく説明することが重要と考える。物価高騰問題や物流問題等、潤沢に物が入ってこない世界的な情勢を、

個々の力で変えることは困難であり、これらを踏まえた中で今後の農業経営にどのように向き合っていくのか、本町の基幹産業をどのように持続可能なものにしていくかを、中長期的な視点で見つめ直すことが必要であり、同時に地産地消、地域ブランド開発、既存の品目の生産拡大、新たな品目の生産に取り組みなど、農家の積極的な動き



畜産経営者の説明を聞く様子

も重要になってくるが、労働力不足、資金不足により対応できない農業経営体も少なくないことから、これらの問題についても、町として積極的に解決する必要がある。また、自治体だけが個別に対応するには課題が多く、引き続き国内や海外の社会情勢を見極めながら、今後も営農期や収穫期などに継続して調査研究を続けて、その上で、

厚生文教常任委員会 調査報告

- (1) 図書館・郷土史料館の現状について
- (2) しみず認定こども園の現状について
- (3) 葬斎場の現状について

調査日 令和5年4月28日

(1) 図書館について、必ずしも図書購入額などの予算で町の文化度を測るものではないが、今後の蔵書の充実・強化を期待したい。郷土史料館では、郷土史研究会の協力を得たりしながら、施設整備の体制を作ってはどうか。

また、郷土史料館に学芸員を置くために、郷土学習支援員を地域おこし協力隊の募集で配置する考えであるが、資料の取捨選択というのが大きいと思われ、清水のことを知らない人が来て価値を判断できるのかという不安要素もある。これらを踏まえ、収蔵品の歴史的価値の評価等など将来に亘り町の歴史的文化を支える重要性からも、地域おこし協力隊といった一時

的な配置ではなく、永続的な学芸員の配置が望まれる。(2) しみず認定こども園は、綺麗で雰囲気明るく、駐車場も広いなど色々な面で高い評価である。この状況を持続して、子育てで近隣の町村に負けないような子育て環境作りの継続を期待したい。(3) 葬斎場については、建物は老朽化しているが、綺麗に整備されて使



郷土史料館見学の様子

用されている。令和9年度に建て替えを予定しているとのことであるが、しっかりと計画立てていく必要がある。